

## 第1回 実践検討会

令和5年9月15日

- 実施園 奈良市立こども園 5歳児
- 指導助言 養成大学スーパーバイザー
- 参加者 令和5年度幼児教育アドバイザー 8名  
奈良市立園 副園長 5名



### カンファレンスについて (司会・記録：幼児教育アドバイザー)

【研究主題】 「心が動き主体的に遊ぶ子どもを目指して  
～チームで見取る子どもの育ちや学び～」

#### 【5歳児 活動のねらい】

- ・ 共通の目的をもち、考えを出し合いながら友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- ・ 友達と一緒にルールを考えたり守ったりしながら体を動かす楽しさを感じる。

#### 【カンファレンスをするにあたっての心構え・事前準備など】

##### 司会

- ・ 5歳児の3期の特徴と照らし合わせて進める。
- ・ 子どもの心が動き、主体的に遊ぶ姿はどの場面にあったかを探る。
- ・ 参加者が意見を出しやすい和やかな雰囲気をつくる。
- ・ 話す人の意見や考えを受けとめ、重要だと思うことについては端的にまとめて復唱する。また、発言した参加者が受け止めてもらえたという安心感が得られるようにする。

- ・出た意見から更に深めたいと考える点について、他の参加者に問いかけながら話を深められるようにする。

#### 記録

- ・模造紙に園の研究主題とねらいを記入しておく。また、参加者が遊びを見取る記録用紙には10の姿の項目も記載する。
- ・司会者が復唱することは重要だと捉え、参加者に共有できるよう記録する。
- ・カンファレンス中盤で参加者全員がそれまでの話し合いを振り返れるよう、記録の模造紙全体をみて確認する時間を設ける。
- ・事前に10の姿の項目のカードを作成し、カンファレンスのなかで子どもの姿から当てはめ、カードを貼っていくことでその場で共有できるようにする。

#### 【反省・課題】

- ・記録用紙の『明日につながるヒント』まで話し合う時間を十分に取ることが出来なかった。限られた時間の中での、時間配分の難しさを感じた。
- ・司会者と記録者を分担したことで担当に専念でき、今回ねらいとしていた参加者の話を受け止め共感しながら聞くということが出来た。
- ・遊びごとに協議を進めていくことで、いろいろな視点や見取りの意見が出て学びとなった。その場面をみていない参加者も自分に置き換えて考えることができた。
- ・司会者と記録者は、視点や進行について事前に共通認識をしておくことが大切だ。
- ・たくさんの意見の中で、どの部分を復唱して伝えるとよいのか迷い、問いかけや共有したいところを確認して伝えることに難しさを感じた。
- ・「〇〇についてはどうか」など、出た意見から掘り下げていきたいことについて更に司会者が振ることで活発な意見交流ができると感じた。
- ・中間に記録の模造紙を見ることで、出た意見を振り返り共有することができた。
- ・付箋だけでなく記録用紙を使って進めることは視点を明確に絞ることができる。
- ・参加できていない人が共有できるような記録をする難しさを改めて感じた。

#### カンファレンスを通しての学び、気づき（子どもの姿の捉え方、協議内容について）

##### ◆令和5年度幼児教育アドバイザー

- ・ひとつの遊びの中に10の姿で表すことができる子どもの学びが多く含まれている。
- ・遊びの様子や子どもの姿を丁寧に見取ることで、遊びへの関わり方や子どもの心の動き、子ども同士の関係性やそれまでに育っている姿を読み取ることができることを再確認した。
- ・他の先生方の発言から子どもを見取る視点の多様性を感じ、自分の子どもの見取りや遊びを見る視点について振り返り考える機会となった。

- ・協議内容について「心が動いている子どもの姿・心が動いたきっかけ」「見取った子どもの姿から10の姿につなげる」「明日に繋がるヒント」の3点に視点に絞ったことは良かった。
- ・子どもの姿から子どもが何をしたいのかを読みとったりやりたいことを認めたりしながら、背中を押したり見守ることの大切さを再確認することができた。
- ・1日の遊びの振り返りの中で、子どもたちが言葉で語ることを逃さず認めていくことや、成功体験だけでなく上手くできなかったことも認めていくことが明日の保育に繋がる。
- ・子どもの姿に対して「ここがおもしろい」「なぜ？」と感じたことを共有し十分に話し合っていく中に、10の姿への繋がりを捉えていくことができた。
- ・日頃の園内研修では子どもの姿を見取るところまでしかできないことがあるが、自分の中でねらいをもち意識して進めると、自然に繋げて話せることが分かった。

#### ◆奈良市立園 副園長

- ・同じ立場・経験年数の職員でのカンファレンスで話しやすかった。時には同じような経験年数でのグループの構成でカンファレンスを行うこともしていきたい。
- ・限られた時間のなかでポイントを絞って話し合いをすることも大切だと実感した。
- ・最後にまとめなくてはいけないという気持ちがあったが、子どもの姿について語り合うことが大切だという事を学んだ。
- ・他の先生のカンファレンス進行を客観的に見る機会となったことが良かった。また、参加者同士、互いの意見を聞くことが学びになると改めて感じた。

#### スーパーバイザーの先生からのアドバイス

- ・子どもの姿について十分に出し合い、話し合いを深めた後に10の姿について考え出し合う、この順番が重要である。
- ・司会が振りながら参加者で十分に語る事が大切。事前に気になる点について、参加者に投げかけておくといった方法もある。
- ・比重を置きたい点を深掘りして話し合うことは難しいが、その時のメンバーや使える時間に応じて使い分けていくのもひとつ。その回ごとにねらいをもつ。
- ・自分の言葉で子どもの姿を語れるようにチームとして職員を育てる。身近な同僚としてまずは自身が楽しそうに子どものことを語る事が一番。
- ・記録があることで他の保育者にも共有ができる。

#### 今後現場でどのように活かしていくか

- ・出た意見の中で自分が気になったことや深めたい事などを問いかけたり、話を振ったりして活発な意見交換ができるようにしていきたい。
- ・自分自身も子どもの心の動きを深く読み取る力を養いながら、子ども理解につい

て職員と対話をする時間をもち、子どもにとってより良い関わりや環境構成を共に探っていきたい。

- ・話しやすい雰囲気づくり、意見に共感する姿勢、まとめるのではなく問いに対して語り合うことを大切にしていきたい。
- ・意見を受け止めるのみではなく、問いかけを返していくことも大切だと感じた。相手の伝えたいことを汲めるように、意見を聞き、共有できる様な進行を心がけていきたい。
- ・保育の見取りの方法としては、視点を基に記録用紙に書き留めたり、付箋を使ったり様々な方法があるが、参加者の経験年数や参加人数によって利点は変わってくるので、その時々で最善の方法を考えていきたい。
- ・昨年度の実践検討会から、今年度の園内の公開保育では、参加者が写真を撮り、カンファレンスで見取った場面を語る方法を取っている。語ってもらう中で「子どもにとってどうであったか」等の問い掛けをすることや遊びの面白さについて語り合うことも加えていきたい。

#### スーパーバイザーの講評より学んだこと

- ・『楽しく聞く・楽しく語る』こういった見本に自分になれるよう、意見を肯定的に受け止め、共感していく。
- ・カンファレンス後に『楽しかった』『保育がおもしろいと感じた』と思ってもらえるような進行役ができるようにしていきたい。
- ・司会者も参加者と対話をするような気持ちで進行していく。
- ・子どものことや保育のことを楽しく語ることが、見取る目を養っていくことに繋がっていくので、子どもや子どもと関わる先生たちの姿を見ながら、その良さを伝えていきたい。また、いろいろな年齢、職種、経験年数がいる中でも対話を大事にしながらか参加者の気持ちを汲めるような進行を心掛けていきたい。
- ・毎回踏み込んだカンファレンスにならなくても、「語ることを楽しむ」「遊びを深く読み取る」とステップを踏みながら進める話をして下さり、経験年数の違いや様々な保育観をもつ職員同士で語り合う場合には、どのステップが良いのかを選んでいきたいと感じた。その中で、同僚が楽しく子どもの姿や保育を語る姿が職員（メンバー）を育てることに繋がるというお話が印象に残った。  
まずは、自分自身が日頃より子どもの姿を見取り、楽しく語っていきたい。
- ・参加者で子どもの姿を語る、子どもの遊びの面白さや楽しさを語ることで結果として育まれている10の姿が見えてくる。
- ・様々な立場の職員からの多様な意見に対しては、内容に限らず意見を述べてくれたことへの感謝の意を表すことで、参加者同士が活発に意見交換できるような場を作ることができる。

【記録用紙】

令和5年度 幼児教育アドバイザー 実践検討会記録用紙

令和5年9月15日(金) 5歳児

研究主題：心が動き主体的に遊ぶ子どもを目指して  
 ~チームで見取る子どもの育ちや学び~

《5歳児3期の特徴》  
 「一人一人が自信をもち、一つの目的に向かってクラスやグループで取り組むことで仲間意識が芽生える時期」

幼児期までに育って欲しい10の姿  
 健康な心と体/自立心/協同性/道徳性・規範意識の芽生え/  
 社会生活との関わり/思考力の芽生え/自然との関わり・生命尊重/  
 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚/言葉による伝え合い/  
 豊かな感性と表現

遊び	心が動いている子どもの姿・心が動いたきっかけ	見取った子どもの姿から どの10の姿が育まれているか	明日に繋がるヒント (環境・配慮・私ならこうするか?)

